

11 行動を起こす

取組事例

48

R5 企業向け講座

～ SDG s 時代の企業における森林とのつきあい方について考える Vol.3 ～

三重県林業研究所



2 回目の講師と参加企業との意見交換の様子

実施時期	令和 5 年 9 月及び11月
実施場所	1 日目：速水林業所有の森林及び 研修室 2 日目：woodjob(株) 林業研究所
時間	1 日目：5 時間30分 2 日目：6 時間 全 2 日間
対象・人数	企業経営者及び従業員12人
講師	全体指導：三重大学 青木雅生氏 1 回目：速水林業 速水 亨氏 2 回目：woodjob(株) 青木雅俊氏、 木村森業(株) 木村寿志氏
備考	県主催講座

めざす姿	11 行動を起こす （ 03 興味・関心を持つ、 06 知識・技能を身に付ける、 08 地域の課題に目を向ける、 09 地球の課題に目を向ける、 10 課題解決への参画）
ねらい	SDG s 時代における企業の森林とのつきあいを考え、行動を起こす
内容	1 日目・森林や林業の課題についてグローバルな視野で学び、国際的な社会問題と森林との関わりについて考える ・ 代々人々が関わってきた林業地の生産性の高さと美しさを知るとともに、持続可能な森林経営について学ぶ ・ 企業の立場から、持続可能な森林資源の利活用や、森林とのつきあい方について理解と関心を深める。 2 日目・小規模製材所の様子を視察し、丸太がどのような製品に加工されるのかを知る ・ 三重県林業研究所アカデミー棟の様々な木材の使い方から、木材を有効に利活用する方法を考える。 ・ 地域の森林資源を活用した経営活動をしている林業家や製材業者の講演から、地域の林業や木材産業の現状や課題について知る ・ 講師や参加者間における意見交換を通して、参加企業が三重県の森林資源を活かした活動に取り組むにあたり、疑問に感じていることや課題について、考える



1 回目の速水氏の講義の様子



1 回目の林業地の視察の様子



2 回目の製材所の視察の様子

参加者の
反応

- ・ 三重の森と木の利活用について企業としてどうすべきか考える良い機会となりました。
- ・ 美杉地域の林業従事者や子どもの減少が危機的な状況であることを目のあたりにし、真剣に何ができるのかを考えたいと思いました。
- ・ 週3～5日の雇用形態が印象的でした。働く人のニーズと会社のニーズがうまくマッチしていると思いました。
- ・ 美杉には元気で挑戦心のある若い林業・木材関係の経営者がおり、多様な働き方を受け入れていることが印象的でした。
- ・ 参加者の方にSDG s のご担当の方が多くいらっしゃり、県内企業においてもESG経営に積極的に取り組んでいることが印象に残りました。